

災害が起こる前にやっておこう！

索引|図 自宅周辺(普段生活する場所)の危険度を知ることが重要です。


■ わが家の危険性 災害（津波・高潮・土砂・洪水・ため池）ごとにハザードマップで確認し、該当するものに「○」をつけてみましょう。

以下の1、2、3の順番にやってみましょう。

1 目次を見て、自宅のある各ハザードマップのページを開いてください。

	要避難	状況に応じて避難	避難不要
津波 自宅が、浸水想定範囲内であれば、要避難			
高潮 自宅が、浸水想定区域内であれば、要避難			
土砂 自宅が、土砂災害(特別)警戒区域の範囲内であれば、要避難			
洪水 自宅が、財田川・柞田川の浸水想定区域の範囲内であれば、要避難			
ため池 自宅が、浸水の深さ0.5m以上の場合は、要避難			

平常時から、安全な避難場所と経路を考えておきましょう。さらに、自治会や自主防災組織単位でまとまって避難することも考えてみましょう。



2

災害の種類	津波	高潮	土砂	洪水	ため池
自宅のある位置をハザードマップ上で確認して、安全な避難場所をどこにするか、指定緊急避難場所・指定避難所(6~8ページ)から選んでください。 (避難場所名を右側の空欄に記入)					

3

災害の種類	津波	高潮	土砂	洪水	ため池
ハザードマップを見ながら、自宅から安全な指定緊急避難場所までの距離を測り、避難に必要な時間(避難時は時速2km以下)を計算して書き込んでみましょう。このとき、途中の経路上に危険な箇所ができるだけ少なくなるよう、留意することがポイントです。	km	km	km	km	km
	分	分	分	分	分

